



みやかわ

会津美里町立宮川小学校
2020年度学校だよりNo.5
令和2年6月12日

熱中症を予防しよう



夏の暑さが、マスクをしている子どもたちを取り囲み始めました。マスクをしていると、呼気に湿気があるために、のどの渴きをあまり感じないようです。

子どもたちには積極的に水分をとるように声をかけています。しかし、午後にはもうすでになくなってしまいうこともあるようです。新型コロナウイルス感染防止のために校庭での体育が大部分です。ここ数日の暑さの中で体育をしているので、かなりの消耗があります。

そこで、熱中症を予防するために、水や麦茶の他にスポーツドリンクも可としたいと思います。ただし、必ず水筒に入れるようにお願いします。スポーツドリンクはカロリーが高く、糖分も多く含まれています。飲んだままにしておくとし歯のリスクも高いです。むしろ、麦茶に少し塩分を加える方がミネラルを補給するにはいいでしょう。

本校の水道は、上向きの蛇口がないので、コップなどに汲んでからしか水を飲むことができません。子どもたちには、「水道の水を飲んでもいいんだよ」とは話しているのですが、「ぬるいからいやだ」という子が多いのです。また、校庭に水道がほぼありません。

保護者の皆様には何かとご面倒をおかけしますが、水分の準備を十分にお願いします。

人権の花

6月9日（火）に人権擁護委員の方々と環境委員とで「人権の花」の植え付けを行いました。

人権擁護委員の方からは、人の命も花の命も大切に育ててほしいとのお話がありました。

環境委員の児童が9つのプランターに分けて植え付けをしました。ベコニアと日々草なのですが、暑い日差しの中でも元気に育ってくれると思います。昇降口のところにきれいに並べておきました。環境委員の児童が毎朝水やりをすることになっています。時々、花を見て人権について考えてみる機会になればと思います。



英語が話せたらなあ

こんなことを思ったことはありませんか。全く英語を話せない人にとっては、英語で会話ができることは憧れでしかありません。

今年から、3・4年生が外国語活動として35時間、5・6年生が外国語科として70時間授業をしています。本校では、英語専科の先生とALTの2人組で授業しています。とはいえ、子どもたちがすぐに英語を話せるようになるわけではありません。日常の中では日本語ばかりですから、英語に触れる機会が多くなった程度なのです。それでも、他言語に積極的に関わり、外国の人々と堂々と接することができればそれが入り口になります。これからは、海外に出ることもまた、海外の人と出会うことも多くなるはずです。グローバル化の中で育っていく子どもたちには「英語嫌い」にならないようにすることが大切です。小学校の英語の授業は楽しさを感じさせながら進めています。



6月8日から水泳学習が始まりました。今年度は新型コロナウイルスの影響で水泳学習が可能かどうか心配でした。けれども、文科省や県教育委員会からの指導をもとに実施することができるようになりました。

ただし、今までと同じような指導はできません。予防策を講じ、それが不可能であれば実施しないとの指示までされています。

さて、大きな違いは、「触れない」「距離をとる」ことにあります。友達同士、先生と児童も触れないことが大切になっています。感染防止の意味でのことなのですが、泳げない児童に対しても補助することができません。ビート板やヘルパーを使っての指導が頼りとなります。こうなると技術的な向上は難しくなります。

学校という大きな集団生活では様々な限界が出てきています。親子であれば問題はないので機会を見つけて親子でプールに出かけていただければと思います。もちろん感染予防に万全を期しながらです。よろしくお願いいたします。

